

～第75回産学交流サロン「ひびきのサロン」のご案内～

～第5回バイオ機器勉強会(バイオ機器の事業化を目指して)～

- 日 時：平成20年12月16日(火) 15時00分から
- 場 所：北九州学術研究都市産学連携センター内(北九州市若松区ひびきの2番1号)
- 内 容：

15:00～17:00 研究テーマ発表 (詳細裏面)

○テーマ：酸化チタンナノ粒子の音響力学効果とその利用

◇発表者：TOTO株式会社総合研究所小倉研究部バイオ研究G 主席研究員 曾根崎修司氏

○テーマ：次世代センサツール：光ファイバの活用と高機能化

◇発表者：北九州市立大学 国際環境工学部 准教授 李丞祐氏

○テーマ：電気化学的手法を利用した簡便な酵素活性検出法の確立

◇発表者：九州工業大学バイオテクノロジー技術研究C 助教 佐藤しのぶ氏

17:00～19:00 ポスターセッション&交流会&フリーディスカッション
(軽食、アルコール等)

○会 費：無料(交流会参加の場合、1,000円必要)

【学術研究都市ファンクラブ
「ひびきの会」会員特典】

※交流会にも無料で参加いただけます！

【お申込・お問合せ】

(財)北九州産業学術推進機構

産学連携センター 担当：安川、江藤、牛島

Tel: 093-695-3006 Fax: 093-695-3018

E-mail: iac@ksrp.or.jp

※下記FAX用紙でも受付けております

(財)北九州産業学術推進機構
産学連携センター 事業推進部担当部長 北井 三正



< 産学交流サロン「ひびきのサロン」とは >

北九州学術研究都市を中心に新たな産学連携の動きが次々と生まれる風土を醸成するため、研究者、企業、行政等、多様な肩書きを持つ人々が、自由に集まり、特定の研究テーマについてディスカッションできる交流サロン(ひびきのサロン)を定期的に開催しています。

大学、企業等の研究者が自らの研究内容を事業化の観点から紹介し、参加者全員がアルコール片手に自由に意見交換しながら、交流を深めることで新たな共同研究開発等へ発展していくことを目指します。

第75回産学交流サロン申込用紙 FAX: 093-695-3018 (FAXにてお申込み下さい。)

貴社名			
参加者氏名 及び役職名			
【交流会について参加希望の方は○印をご記入ください】	参加希望 ・ 参加しない ・ 未定		
住所			
Tel		Fax	
E-mail		E-mail 送信希望 ※○印をつける	希望する、希望しない

※次回以降、メール配信にて「ひびきのサロン」のご案内を希望される方は、上記【E-mail】の項目にご記入いただき、送信下さい。

ご参加の皆さまへ

北九州地域のバイオ産業の振興を目的として、H19年2月から「バイオ機器研究会」の活動を実施してきました。北九州市内の大学(九州工業大学、産業医科大学、九州歯科大学、北九州市立大学など)と市内・市外企業との産学連携により、実用化・事業化を目指した活動を実施しております。

今回は第5回のバイオ機器勉強会として、地元企業及び大学からの御講演をいただくと同時に、北部九州エリアの企業及び大学からのポスターセッションという形での情報提供をお願いしております。この機会を利用して、企業及び大学相互の出会い、情報交換の場として大いにご活用願います。<北九州市、(財)北九州産業学術推進機構 産学連携C、九州工業大学バイオマイクロセンシング技術研究C>

テーマ：酸化チタンナノ粒子の音響力学効果とその利用

【発表者のプロフィール】

○TOTO株式会社総合研究所小倉研究部バイオ研究G 主席研究員 曾根崎修司氏
(略歴) 1994年 九州工業大学卒、同年 東陶機器株式会社入社

【発表者からのメッセージ】

TiO₂には光(紫外光)照射による光触媒作用や超親水性作用等、特異な現象が知られている。こうした機能の更なる向上研究の中で、光照射と超音波照射の併用による光触媒の分解効率の向上という現象が知られていますが、その原理的な解明はまだ十分とは言えません。今回、TiO₂への超音波照射による効果、いわゆる音響力学的な効果の現象に関する理解及び医療用途(がん治療)への新たな応用展開について発表したいと思っております。

テーマ：次世代センサツール：光ファイバの活用と高機能化

【発表者のプロフィール】

○北九州市立大学 国際環境工学部 准教授 李丞祐氏
(略歴) 1999年 九州大学大学院工学研究科修了 工学博士取得

1999年 理化学研究所フロンティア研究システム時空間機能材料研究グループ研究員

2000年 北九州市立大学 国際環境工学部 講師を経て、2006年より現職に至る。

【発表者からのメッセージ】

エバネッセント波を利用した光導波路センサが注目されており、最近、我々の研究グループでは光ファイバのコアから滲み出るわずかな光を有効に活用するための研究を進めています。今回は、ナノ構造体の製膜法に基づいた光ファイバの高機能化と化学センサ/バイオセンサへの応用について紹介致します。

テーマ：電気化学的手法を利用した簡便な酵素活性検出法の確立

【発表者のプロフィール】

○九州工業大学バイオマイクロセンシング技術研究C 助教 佐藤しのぶ氏
(略歴) 2005年 九州大学工学府博士課程修了 工学博士取得

2005年 九州工業大学情報工学部 日本学術振興会特別研究員(PD)

2008年 現職に至る。

【発表者からのメッセージ】

電気化学的手法は、装置が小型で安価なことからバイオ分析ツールとして期待されています。また、酵素は体内で重要な働きを担っている蛋白質です。今回は、電気化学的手法を利用した簡単な酵素の活性検出方法について、いくつか紹介いたします。

★ポスターセッション (@1FL展示ルーム 17:00頃から)

<ポスターセッション参加予定機関> ☆参加者募集中(11月末〆切)

企業：九州計測器(株)、(株)セパシグマ、(株)羽野製作所

大学：九州工業大、北九州市立大、産業医科大、九州歯科大

<パネル/機の仕様> パネルサイズ：840W×1840H(掲示部は上部1000程度)

パネルの前机：600W×1800L×700H